

# 大谷小中学校だより

NO.14  
令和5年3月29日  
珠洲市立大谷小中学校

## 乗り越えた先には、新しい世界がまっている

校長 上田 辰美

コロナ禍にあったこの3年間でしたが、ようやくコロナ以前の日常が戻りつつあります。100年に一度のパンデミックと言われ、誰もが経験したことがないことに直面し、暗中模索の状態での大変な3年間でした。そのような中、知恵を出し合い、我慢し合い、慎重に対応して進んできた3年間でもありました。そしてこの春、ようやく「次への兆し」が見えはじめ、世の中が動き出しました。

この3年間を経験したことで、これまでの働き方や生活のあり方が見直されるようになり、地方の暮らしの豊かさに気づきをもたらしました。様々な場で、新たな世界が開きつつあります。

そのような中、3月24日に令和4年度の修了式を終えることができました。式の中で、子どもたちには誕生日についてお話をしました。

各ご家庭で誕生日をお祝いすることがあると思います。お母さんが10か月にわたりお腹の中で命を慈しみ育て、辛さとたたかいながらお産をして、生まれてきた時には、たくさんの人から祝福されたはず。そして、この世に生を受け、無事1年を過ごせたことに感謝し、これからの1年に思いを馳せて、お祝いをして、おいしいものを食べたり、喜んでもらいたくてプレゼントを用意したりするのだと思います。家族にとって、大切な大切な命を慈しむ日でもあるはず。

しかし、一方でネットの中であふれている言葉があります。

「死ぬ」「殺す」「うざい」…。こうやって、文字にしてみるだけでもつらいコトバです。これらは、「あなた〇になさい」「あなたの〇を奪います。」「あなた気持ち〇いです」という意味のコトバです。このコトバを向けられた人やその家族の思いを見つめてみた時に、改めなければならない言動があるはず。遊びでは終わらせられないコトバであることを考えられる人であって欲しいと話しました。

子どもたちの健やかな成長につながるように、日頃より学校・家庭・地域が連携して、取り組んでいただいておりますことに感謝申し上げます。この春休み中に、言葉について各ご家庭で話を出して頂きますようお願い申し上げます。

まもなく新年度を迎えます。人は、節目を利用して、よりよい自分を描き、次を目指そうとします。子どもたちがよさを発揮し、輝けるように取り組んで参ります。

今年度、学校にお寄せいただきましたご支援・ご協力に感謝申し上げます。保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。今後もよろしく願いいたします。



## 令和4年度卒業式式辞

校長 上田 辰美

厳しかった季節が、ゆっくりと春に向かって動きだしています。本日、第六回卒業証書授与式を挙げるにあたり、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました三名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、平成二八年度に本校の二年生に編入し、本日を迎えられました。三年前、コロナ禍による臨時休業が始まり、皆さんの後期課程での生活は、制約の中での日々となりました。三年の月日を経て、本日、ようやくマスクを外しての卒業式となりました。この三年間、コロナ禍ではありましたが、遠足や修学旅行、体育祭、文化祭、スキー合宿、PTA行事等は少人数の良さを生かして、規模を縮小しながら行うことができました。

そんな皆さんの三年間を振り返り、真っ先に思い出すのは、誕生日に行われていたイベントです。手作りの王冠やたすきを身に付け、仲間からお祝いの言葉をもらっての全員での記念撮影。時には教室で、時には土曜日の部活後のだんだん広場で。仲間と一緒に撮った写真には、笑顔がはじけていました。

そして何より、昨年度の道徳教育研究発表会における学校CMづくりは圧巻でした。クロームブックを活用して撮影した仲間の写真は、皆さんならではのシャッターチャンスで切り撮られており大好評でした。

みなさんと出会ってからの三年間、たくさんの方がいました。個性豊かな三人の生活を心配したこともありましたが、しかし、今ほどの清々しい姿に、皆さんは確実に成長し、巣立っていくことを感慨深く感じています。

そんなみなさんに、伝えたいことがあります。りんたろうさん、お話しはいくつしてもいいですか？ ましろさん、厳しい話がいいですか、優しい話がいいですか？ かずきさん、ためになる話がいいですか、楽しい話がいいですか？

それでは、お話しします。

一つ目は自分自身を支配している思い込みを取り払うということについてです。

オリンピックの陸上競技でメダルをとった為末大さんは、『限界の正体』という本で次のようなことを述べています。スランプに陥った時、すぐ抜け出せる人というのは、いろんな人と出会い、多様な考え方ができる人だそうです。自分の視点からの考えに固執すると次へ進めなくなるというのです。更に、未来を考える時に過去を憂えたり、周りが自分をどう見ているかに固執していると、次のチャンスはやってこないというのです。また、別の実験データで、同じグループの中の人ができなければ、自分もできないと判断しがちであり、反対にできれば、自分もやってみようと思う傾向があることが証明されたそうです。つまり、思い込みによって自分の行動や能力を制限しているというのです。では、どうしたらその思い込みから抜け出すことができるか。自分の決まった行動パターンからは同じ見方しかできないものです。違う席からは違う景色が見えるように、時間、場所、人が入れ替わるなどの違う環境を作ることが大切なのだそうです。高校生活において、人と出会い、様々な場所を訪れ、本を読んで、思い込みを取り払ってください。思い込んでいたものが壊れる瞬間が学びの瞬間です。

二つ目は、幸せな人生を切り拓く力についてです。

人が幸せを感じる時の三つの要素は、人として敬意をもって接してもらえた、雑談をして笑い合うことができた、学びや変化があった だそうです。そして、自分が幸せになろうとすることよりも、この三つの要素で誰かを幸せにできたかが重要なのだとか。どうか、誰かを幸せにできる人になってください。

結びになりますが、大谷には三つの宝があると思っています。一つは、保護者の皆様の仲の良さや協働性の高さ、二つ目は地域の教育力の高さや学校への支援力、三つ目は、素直で誠実な子どもたちです。

地域の皆様、そして保護者の皆様、九年間の長きに渡り、ご支援・ご協力を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。今、十五年間の子育てを振り返られた時、感慨もひとしおのことと存じます。お子様がふるさとでの学びを糧に、今後もご活躍できることをご期待申し上げます。

卒業や 潮風香る 校舎から

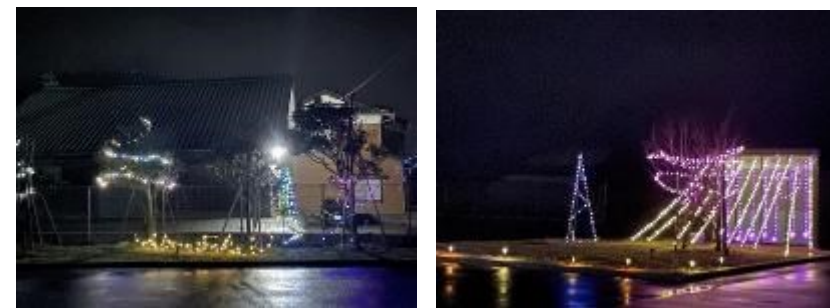
卒業生の皆さん、本日を新たなスタートとして、あなたらしいあなたの高みをめざして前進してください。これからもみなさんを応援し続けることをお約束し、式辞といたします。

## ■ 令和4年度 第6回卒業式 3月13日 ～清々しい姿～

3月13日、第6回卒業証書授与式を挙行することができました。卒業生の清々しい返事や凛々しい姿、感動的な送辞・答辞を通して、改めて子どもたちの成長を感じました。中でも、別れの歌における子どもたちの伸びやかな歌声に、大谷の子どもたちの底力を感じずにはいられません。式後、たかひとさんが元気がないので「どうした？」と声をかけると、「9年生がいなくなってさみしい。」とのこと。ゆいとさんは、「9年生の歌の最後あたり、めっちゃ涙が出てきてとまらなかった。」と教えてくれました。下級生に優しく卒業生の皆さん、自分らしく前進して下さい。ご来賓の皆様、保護者の皆様、ご臨席を賜りましたことにお礼申し上げます。おかげさまで、卒業生3名がはればれと本校を巣立つことができました。ありがとうございました。



## ■ イルミネーションの輝き 3月14日



駐車場の暗さ対策として、PTAのお心遣いで始まった冬のイルミネーションが、今年度も輝き続けました。週末、常俊さんがバッテリーを充電したり、レイアウトを変更するなどして手間暇かけてくださったおかげで、今年度も冬の寒さ厳しい駐車場が明るく彩られました。いつも本当にありがとうございます。

### 令和5年度 職員の異動

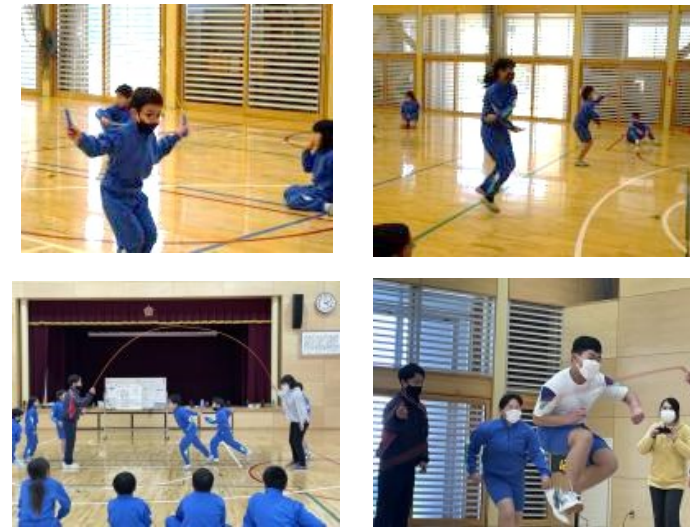
この度の定期人事異動により、6名が転出致します。子どもたちの健やかな成長のためにご尽力いただいた皆様です。ありがとうございました。

- 西 真奈美 養護教諭 (退職)
- 南 力蔵 講師 (退任)
- 二谷 恵美 調理員 (宝立小中学校へ)
- 大門 正幸 教諭 (内灘町立鶴ヶ丘小学校へ)
- 下田 将太 講師 (七尾特別支援学校珠洲分校へ)
- 橋下昌一郎 講師 (上戸小・直小へ)

## ■ 文武両道 3月1日

### ～豊かな読書量 限界に挑戦したなわとび～

読書量の豊かな児童生徒の表彰のために、大谷子どもを育てる会・会長の丸山様と公民館主事・南様にご来校くださいました。学校全体として読書量の多かったみふゆさん、ひなさんが表彰され、「本を読むと心が落ち着きます。これからもたくさん本の世界に触れたいです。」とお礼の挨拶を行いました。学年ごとの表彰も行われ、副賞に図書券を頂きました。いつも子どもたちのために、ありがとうございます。



前期課程の縄跳び集会がありました。A・Bチームに分かれて、競い合いました。中でも八の字跳びは盛り上がりました。時間内に各チーム100回以上跳ぶことができていました。みんなで声を揃えて数を数える姿が素敵でした。会を運営した6年生、大変立派でしたよ。全員、よくがんばりました。

### 令和5年度 第7回入学式

日時 令和5年4月5日(水) 10:00  
場所 大谷小中学校 体育館

珠洲市教育委員会の通知を受け、マスク着用を求めない中での入学式を行います。ようやくコロナ前の学校生活が戻りつつあり、地域の皆様にもご臨席を賜り、入学生の学校生活のスタートをお祝いしていただける状況となりました。これまでのご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。

栃木県の川本様から、児童生徒・職員に、たくさんのおいしい最中を頂きました。早速子どもたちに配らせていただきました。ご来校いただいた上に、子どもたちへのお心遣いに感謝致します。ありがとうございました。

### 4月の行事予定

緩やかに曲がる海沿い菜花道 辰美

教育活動		教育活動	
1	土	16	日
2	日	17	月
3	月	18	火
4	火	19	水
5	水	20	木
6	木	21	金
7	金	22	土
8	土	23	日
9	日	24	月
10	月	25	火
11	火	26	水
12	水	27	木
13	木	28	金
14	金	29	土
15	土	30	日